

進路だより

東京都立あきる野学園

令和8年3月16日

進路指導部 No.05



施設見学会報告

ご参加いただいた保護者のみなさん、ありがとうございました。

冬季の進路見学会は、例年「施設入所サービス」や「住まい」に関わる事業所も見学先として保護者向けに差設定しています。

今年度も各事業所のご協力のもと、多くの保護者の方にご参加いただきました。

株式会社 TUMUGU むすぶキッチン（就労継続支援 B 型事業所）

むすぶは、4月に開所したばかりの、就労継続支援 B 型事業所です。主に、むすぶキッチンでの調理、接客をしていて、時々畑作業もしています。利用者みなさんはオープン前の清掃、セッティングが終わると、お菓子作りをしていました。お店がオープンすると、みなさん持ち場につかれて「いらっしゃいませ」と明るい挨拶で接客。お水を出したり、オーダーを取ったりと任された作業をてきぱきと、おいしいランチをあっという間に運んでいました。



NPO 法人いもっこの会 グループいもっこ（就労継続 B 型・生活介護）

同一の建物の1階と2階でそれぞれ別の障害福祉サービス事業を行っている「多機能事業所」を見学いたしました。いもっこは立川市にある作業所ですが、あきる野学園の卒業生も数名利用している事業所です。当日は、感染症の影響もあり保護者の方の参加は2名での見学となりましたが、代わりに少人数でじっくりとお話を聞くことができました。施設長の小尾様からは、ぜひ多くの事業所を「保護者」が見学し、それぞれの事業所の雰囲気や理念を知ることが大切との話をいただきました。

社会福祉法人鶴風会 障害者支援施設 楽 iroiro（生活介護事業所）

普段、リハビリなどでお世話になっている西多摩療育支援センター内の一番奥に生活介護事業所の「楽 iroiro」があります。もともと「わらべ」という食堂で働いていた障害者を母体として平成30年に生活介護事業所が立ち上がりました。見学当日はA部門の保護者5名の方の参加で、利用者さんの様子を見ながら、管理者の佐藤様からお話を伺いました。利用者さん同士で話し合い2カ月先のプログラムを決めていきます。話し合いが難しい方には職員さんがついて一緒に考えます。最近は働きたいという意見も多く、「あおぞら工房」ブランドで、小物を製作したりTシャツをデザインしたりして販売しています。3人チームを作り、年3回、車での外出活動を行っています。（遠くは江の島、東京タワーなどへ日帰り等）PTやOTさんとも連携し、2回/月の身体のケアしてもらっています。

（社福）SHIP ラファミド八王子（共同生活援助）グループホーム

ラファミド八王子は、男性だけのグループホームです。特徴は、食事提供を省くことで、日中の支援（通院同行、担当制など）を手厚くし、1日のうち20時間は職員が滞在しています。アパートタイプ、シェアタイプがあり、どちらに入るかの判断基準は、お部屋の掃除ができるかどうかなど、深いお話を聞くことができました。同じグループホームでも、事業所によって支援方法や方針などが全く違うことがわかりました。直接お話を聞いてみることの大切さを感じる見学となりました。



ビジネスマナー講座

1月22日に、B 高等部2年生Ⅲ類型を対象に、ビジネスマナー講座を実施しました。株式会社パソナハートフルから講師をお招きして、身だしなみ、挨拶などについて学びました。講師のお一人は、入社9年目、あきる野学園の卒業生です。講座を受けた生徒たちは、その立派な姿に驚きつつ、真剣に話を聞いていました。演習では、自己紹介やお辞儀の仕方の練習をしました。最初はぎこちない様子でしたが、繰り返すうちに自然な動きになっていきました。

講座が終わって、生徒たちに何を学んだか問いかけると、「笑顔が大切」という答えが多く返ってきました。明るい笑顔で挨拶ができると、やる気がある、話しかけやすい、前向きに取り組んでいるという良い印象を相手にもってもらえます。卒業まであと1年。素敵な笑顔で明るい挨拶ができる社会人への成長を期待しています。



社会人に向けて！高等部3年生・身だしなみ講座

AB 両部門の高等部3年生は、毎年この時期に社会人としての生活を学ぶ『身だしなみ講座』を開催しています。今年度も国際文化理容美容専門学校国分寺校よりお二人の講師をお招きして、まずは整容について全体で学びました。その後男女別に分かれて、男子は整髪・ネクタイの結び方・爪の整え方、女子は髪の整え方や基礎化粧の方法を実践で学習しました。実際に体験することで、普段あまり気につけない「身だしなみ」に興味をもつことをねらいとしています。最後には、男女一緒になり、ピフォアアフターを見合ってお互いの変わり様を確認しました。男性は髪をアップにすると清潔感が出ます。女性は、髪の毛の束ね方でも印象がずいぶん異なることを学びました。



いよいよ卒業です。皆さんこれからも素敵な社会人を目指していきましょう。

第3回進路学習会について

R7年度第3回進路学習会「卒業後の生活について」

第3回進路学習会では、37名の保護者を迎え、両部門高等部生徒向けの授業教材「卒業生のお話を聞く会」の動画を題材に「卒業後の生活」について進路指導部3名のリレートークを行いました。

卒後の生活のあれこれ（福祉の場で働く、企業で働く、グループホームで暮らす）を実際の様子を交えて紹介。進路担当者からは、在校中から卒後の生活に至るプロセス（数々の成功も、失敗も…、働いてからのあれこれも）や最近のグループホーム事情（いろいろな種類のグループホームやこれからの動向など）まで幅広く情報提供を行いました。



ご参加いただいた保護者の方からは、卒後の様子を具体的に知ることができ良かったとの感想を多くいただきました。また、もっと違うタイプの卒業生の卒後の姿を知りたいとの要望もいただきました。

今後の参考になるご意見、ありがとうございました。

進路講演会について

進路講演会「卒業後の福祉について」

様々な福祉サービスの開設・運営に関わってこられた、羽村市にある「Beehive 伊勢様」をお迎えして開催しました。ご経験に基づいた各障害福祉サービスの違いと障害者福祉を取りまく歴史についてご講演をいただきました。

伊勢様から、卒後の福祉サービスの選択は「循環型」と考え、今の状況に合わせ選択し、そしてその後の希望に応じて変化していった方が良いとの考えをうかがいました。

本校でも、これまで保護者の皆様に「18歳（卒業時）の選択は、決してゴールではない」と伝えさせてきておりますが、卒後を考えるうえで福祉現場の方から貴重なお話を伺う機会となりました。



今年の進路指導部の活動について

高等部3年生の進路決定については、例年通り生徒自身の希望に応じた進路指導につとめました。今年度は、都内特別支援学校全体で企業就労希望者をはじめとして進路決定が例年よりも遅い傾向にあるようです。本校でも同様の傾向が見られました。それぞれの進路先での卒業生の活躍を期待しております。

さて、今年度の進路指導部は「発信力」を意識して活動を進めてまいりました。

進路だよりの年5回の発行。保護者会(全校・一部各学部別)における進路講話。進路学習会の実施(計3回延べ127名【申込者】)のご参加、一部動画視聴の試みも実施)等々を実施しました。正直、全てのご希望やご要望にお答えすることはなかなかできません。それは次年度以降も難しいと思います。ですが、情報提供は児童・生徒のみならずとご家族、そして学校をつなぐ重要な役割だと考えています。これからも何かご不明なこと、ご心配なことがありましたら、ぜひ遠慮なくお知らせください。解決はできなくとも、正しい情報をお伝えし、ともに考えていくことはできると考えております。

一年間、進路指導へのご協力ありがとうございました。次年度も引き続き、よろしく願いいたします。